

1. 件 名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（東海第二（953））

2. 日 時：平成30年5月17日 17時30分～19時00分

3. 場 所：原子力規制庁 9階D会議室

4. 出席者

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

名倉安全管理調査官、吉村上席安全審査官、千明主任安全審査官、日南川安全審査官、  
竹内技術参与、

（技術基盤グループ 地震・津波研究部門）

山崎主任技術研究調査官

事業者：

日本原子力発電株式会社：開発計画室 室長代理 他7名

東北電力株式会社：原子力部(原子力設備) 担当 他1名

東京電力ホールディングス株式会社：原子力設備管理部土木耐震グループ 担当

中部電力株式会社：原子力土建部 設計管理グループ 担当

北陸電力株式会社：志賀原子力発電所 保守部 保守計画課 担当

中国電力株式会社：電源事業本部（原子力耐震） 担当

電源開発株式会社：原子力技術部 原子力土木室 担当

5. 要旨

(1) 日本原子力発電から、5月7日提出資料に基づき、東海第二発電所の工事計画認可申請に係る津波への配慮に関する説明書について説明があった。

(2) 原子力規制庁から主に以下の点について指摘を行った。

＜鋼管杭鉄筋コンクリート防潮壁の強度計算書に関する補足説明＞

- 鋼管杭鉄筋コンクリート防潮壁の荷重伝達の概念図について、力の釣り合いを適切に表現するよう検討し、整理して提示すること。また、図中に、外力、応力、反力等の色分けの凡例を追記すること。
- 補足説明資料に記載すべき項目が網羅されているかどうか、先行サイトの実績を確認し、記載の充実化を図ること。
- 鋼管杭鉄筋コンクリート防潮壁の強度計算の評価項目として、基礎地盤の支持性能について、整理して提示すること。
- 鋼管杭鉄筋コンクリート防潮壁の各評価対象部位について、どの解析モデルにより評価するのか、わかるように記載項目、内容を整理して提示すること。
- 解析モデル(2次元梁バネモデルおよび3次元FEMモデル)について、モデル化の詳細を、整理して提示すること。
- 津波と余震との重畳時の荷重組合せに係る評価に関し、津波荷重と地震荷重が逆向きに作用した場合の評価について、その要否を含めて検討し、整理して提示すること。
- 薬液注入改良体に対する評価について、整理して提示すること。

(3) 日本原子力発電から、本日の指摘等について了解した旨の回答があった。

6. その他

提出資料：なし